

## 令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	56	学校名	掛川東高校	記載者	邑田聡一
------	----	-----	-------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	自律と自立の力を育成するため、高い規範意識と品性を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『自律と自立』の意味について考え、行動することができた」と答える生徒80%以上</li> <li>・「気持ちのよい挨拶、制服の端正な着こなしができた」を肯定する生徒95%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンオフの切り替えができており、定着していると感じる。</li> <li>・授業も落ち着いていた。</li> <li>・親目線では厳しめな評価になると感じるが、地域の一員として見るとあいさつも気持ちよくしてくれる生徒が多い印象である。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ルールやモラルの意義について考え、主体的にルールやモラル守ることができた」と答える生徒80%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車のマナーやルールはまですまずだと思う。</li> <li>・ヘルメットを着用している生徒が非常に少ないと感じるので、次年度はヘルメット着用率が上がるよう努力して欲しい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「次の予定を考え、時間を見て行動することができた」と答える生徒80%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を意識して行動することは大変良いことだと思う。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の指導前にポートフォリオが作れた生徒50%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50%という成果は出ているが、働きかけが不十分だったためか、定着しているとは言い難い。</li> </ul>
イ	主体的に学ぶ習慣を確立し、社会の変化に柔軟に対応できる力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の授業見学を行い、自らの授業改善を行った教員80%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学の実績等を考慮すると「週5日以上自主学習に取り組めた」の数値目標は70～75%以上を検討しても良いのでは。</li> <li>・自主学習をより頑張れると良いのではと感じる。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「週5日以上自主学習に取り組めた」と答える生徒60%以上</li> <li>・「授業がわかり、学力が伸びている」と答える生徒75%以上</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し上がると良い。</li> <li>・生徒の学ぶ姿が教員にも相乗の効果が見られるのは素晴らしいと思う。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習方法、学び方の改善を生徒に助言した教員80%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し上がると良い。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報セキュリティを意識した(端末等の)活用を心掛けた」と答える生徒90%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・偽情報に惑わされないための対策など、時代の流れに沿った指導を実施して欲しい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用する授業を行う教員90%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIの活用の仕方について、有効な利用方法だけでなく依存などのリスクを含め、今後のためにきちんと伝えて欲しい。</li> <li>・100%を目指して欲しい。</li> <li>・教員研修の機会を確保したい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究の時間について、計画を実行していく中で、内容についてその都度検証し、必要な見直しをする。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変良い取り組みだと思う。</li> </ul>
ウ	社会の中で働く自分の理想像を見つけ、自己の可能性に挑戦する姿勢を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的に将来を考えた」と答える生徒100%</li> <li>・「本校の進路指導に満足している」と答える生徒80%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分は何ができるか、何をやりたいか真剣に考えるのは良いことだと思う。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路相談、小論文、面接指導等に関わる教員100%</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の将来を考えてくれてありがたい。</li> </ul>

様式第 5 号

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検定や資格取得に挑戦した生徒 50%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に出ると資格や免許等がないとできないこともあるのもっと数値が上がると良い。</li> </ul>
エ	集団の中で切磋琢磨し、自他を認め合い、たくましい心身と豊かな感性を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校生活に満足している」と答える生徒 90%以上</li> <li>・「学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動のいずれかに積極的に参加できた」と答える生徒 80%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの学年も満足度が高く素晴らしいと思った。心理的安全性を確保するためにどのような取り組みをしているのか知りたい。</li> <li>・掛川東高校に入学して本当に良かったと思うようになって欲しい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を利用して外部の専門家による講演会を年間 2 回以上開催し、人権意識の向上を図る。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の講師の有意義な話を聴くのは大変良いことだと思う。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月 1 冊以上読書をした生徒および教員 80%以上</li> </ul>	C	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書については小学校でも話題に上がることがある。</li> <li>・絵本や短編などからでもページを開いてその世界に浸る時間を味わって欲しい。</li> <li>・最近、活字離れになってきているように感じる。</li> <li>・強制されると嫌になってしまうこともあるかもしれないので、数値または成果目標自体を変更してみてもいいか。(本に親しむ機会が〇〇%など)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日常の生活の中で、各自の役割を果たし、人のために行動できた」と答える生徒 80%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人のために働ける人間になってもらいたい。</li> </ul>

オ	学校外との連携を大切にし、安心・安全で地域から信頼される学校づくりに努める。	・「進んでボランティア活動に参加できた」と答える生徒 50%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掛西学園のボランティアに参加していただきありがとうございました。またお誘いいたします。</li> <li>・数値目標が少し低いと感じるが、そう簡単なものではないとも思う。</li> <li>・コロナ過が終わったので、積極的にボランティアに参加できると良いと思う。</li> </ul>
		・PTA行事等への参加率 50%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような活動があるのか分からないが数値目標をもう少し上げたい。</li> </ul>
		・ホームページ等で情報発信を行った教職員 75%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報化社会なので正確な情報を発信してもらいたい。</li> <li>・部活動についての更新が課題に感じる。</li> </ul>
		・「掛川東高校の教育に満足している」と答える生徒及び保護者 75%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25%の生徒は何が不満なのか気になる。</li> </ul>
		・保護者及び生徒のCラーニングの登録率 100%、利用率 90%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ所有率 100%でないといけないことであり、時代の変化を感じる。</li> </ul>
		・校外の個人・団体と関連する教育活動をした教員 50%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に努力して欲しい。</li> <li>・探究学習だけでなく通常の授業や行事などでも地域の方との連携が増えたら良いと思う。</li> <li>・教員の多忙化を考えるとなかなか難しい面もあるのだろうか。</li> </ul>
		・「学校に信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20%は信頼できる先生がいないと考えるともう少し%をあげたいと感じる。</li> <li>・否定的な回答の生徒は学校生活が苦しくないか心配である。</li> </ul>

様式第 5 号

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の事故発生件数ゼロ</li> <li>・施設に関する事故発生件数ゼロ</li> <li>・監査等の指示指摘事項ゼロ</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロは大変良いことだと思う。これからも継続して欲しい。</li> </ul>
カ	教職員が働きやすい職場をつくり、教育活動の質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定された時間内での会議 80%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ決められた時間に終わるよう心掛けていただきたい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業等の始業・終業、遅刻者ゼロを目指す。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた時間を守ることは大事だと思う。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「下校時刻を守ることができた」と答える生徒 80%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた時間を守ることは大事だと思う。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>週 1 回定時退勤できた教職員 70%以上</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職、課長主任が率先して動くことが必要である。</li> <li>・生徒たちのためにありがとうございます。声を掛け合ってノー残業デーなどが増えると良いと思います。</li> <li>・忙しいのでなかなか定時には帰れないようである。</li> <li>・業務過多になっていないか。</li> <li>・教職員の心身が心配である。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「部活動ガイドラインの趣旨を踏まえて活動できた」と答える教員の割合 100%</li> <li>・負担感、多忙感が改善されたと答える教職員 50%</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の働き方改革がなかなか進んでいないようである。</li> </ul>